

優良建設工事説明書

工事番号	下複第5号	工事名	新発田北部処理分区(h456-1他11)管渠工事
施工場所	小舟町、中田町	請負金額	120,182,400円
工期	自 平成30年6月7日 至 平成31年3月8日		
施工業者	新発田建設(株)	代表者	渡辺明紀
現場代理人	高橋孝栄	主任(監理)技術者	高橋孝栄
【工事概要】 施工延長 L=404m 開削工φ150 L=17.2m 開削工φ100 L=18.7m 推進工φ200 L=332.5m 推進工φ150 L=15.3m 小口径マンホール工 N=6基 1号マンホール工 N=2基 1号マンホール工(抗菌) N=2基 2号マンホール工(抗菌) N=4基 公共ます設置工 N=4箇所	一次下請内容	工種	推進工・左官工
		"	開削工・公共ます設置工
		"	立坑工
		"	薬液注入工
		業者数	7社
		下請率	
成績評定点	85点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
当該工事は交通量が多い県道を占用する工事であり、かつ工事箇所下流でも関連下水道工事を施工中であることから、交通規制条件が厳しく、さらに民間建築工事も行われていたことから、各工事間の工程調整が困難であったが、事故なく余裕をもって竣工することができた。また、現場施工条件に合った新しい工法への変更提案、従事作業員に対する熱中症対策、立坑内での安全作業環境の確保等、他の模範になる工事であった。

【検査員】
本工事は交通量が多い県道での工事であったが、安全管理を十分に実施し、かつ、3か月以上工事期間を短縮させ竣工したことは評価できる。工事書類は管理項目別に分類し、適度に分冊して、インデックスの色分け、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでおり、見やすく理解しやすい書類であった。

【説明を補足する写真、図面、略図】



(主)新発田紫雲寺線



(主)新発田紫雲寺線



通過交通の多い県道を規制しての作業になることから、関連下水道工事受注者間で綿密な工程調整及び規制調整を実施。交通渋滞を助長しないような配慮に尽力した。



小立坑設置

現場施工条件に応じ、従来よりも小さいφ800mmの極小立坑に変更・実施。



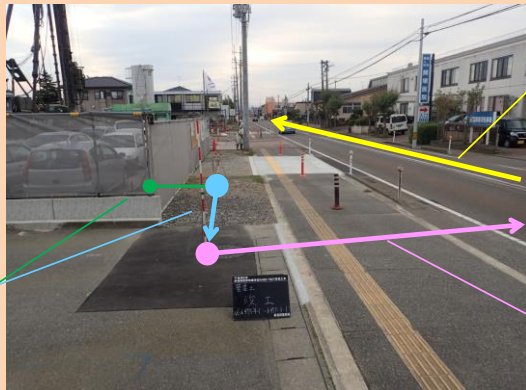
覆工板

覆工板を利用して枝線推進時の作業足場を確保。



酷暑時期の施工であったため、熱中症対策として経口補水液を支給。

同一路線での関連下水道工事に加え、民間建築工事が行われていたことから工事間での工程調整に尽力した。



県道で推進工法による汚水幹線の布設。(低耐荷力泥土圧推進工)

一つの工事の中で、複数の工種がありかつ工程的な制約が多い中で、余裕をもって工事完了することができた。

新築施設のため開削工による管渠布設および公共ますを設置。

都市下水路を下越し横断するため推進工を実施。(低耐荷力圧入二工程推進工)

優良建設工事説明書

工事番号	下豊補第1号	工事名	豊浦北部第4処理分区(73他1)管渠工事
施工場所	乙次・下飯塚	請負金額	94,856,400
工期	自 平成30年 6月 1日 至 平成31年 2月 15日		
施工業者	(株)加賀田組 下越営業所	代表者	高橋 豊博
現場代理人	神尾 孝二	主任(監理)技術者	神尾 孝二
【工事概要】 施工延長 L=197m 推進工φ300 L=187m 開削工φ150 L= 2m 1号マンホール工 3基 2号マンホール工 1基	一次下請内容	工種	推進工工事
		業者数	2社
		下請率	
		成績評定点	84
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 施工箇所は交通量の多い国道460号であり、近接してJAなどの事業所や飲食店が位置していることから騒音・振動について留意が必要であった。推進工法を吸引車の騒音が懸念される泥土吸引排土方式から泥水式へ変更し、騒音クレームが無かった。また、日々路面変位測定を行い、段差による振動も発生しなかった。</p> <p>【検査員】 県道部は施工時期に制限のある中、良好な工程管理により計画通りに工事を完了させた。また、交通量の多い中で長期にわたる工事を優れた安全管理のもと、無事に完了させた。竣工書類は管理項目別に見やすく分類し、項目によって別冊にして、一覧表や色別インデックスを利用するなど丁寧に書類作成されていた。</p>

【説明を補足する写真、図面、略図】



小口径泥水式 推進状況



小口径泥水式 掘進機



路面変位測定状況

優良建設工事説明書

工事番号	下豊単第3号	工事名	豊浦北部第4処理分区(75-2他2)管渠工事
施工場所	乙次・下飯塚	請負金額	68,990,400
工期	自 平成30年 6月 21日 至 平成31年 2月 10日		
施工業者	丸運建設(株) 下越支店	代表者	小林 勝一
現場代理人	池乗 武	主任(監理)技術者	池乗 武
【工事概要】 施工延長 L=125m 推進工φ300 L=122m 1号マンホール工 3基 公共ます設置工 1箇所	一次下請内容	工種	推進工
		"	地盤改良工
		"	交通誘導員
		"	家屋調査
		業者数	4社
		下請率	
成績評定点	83点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

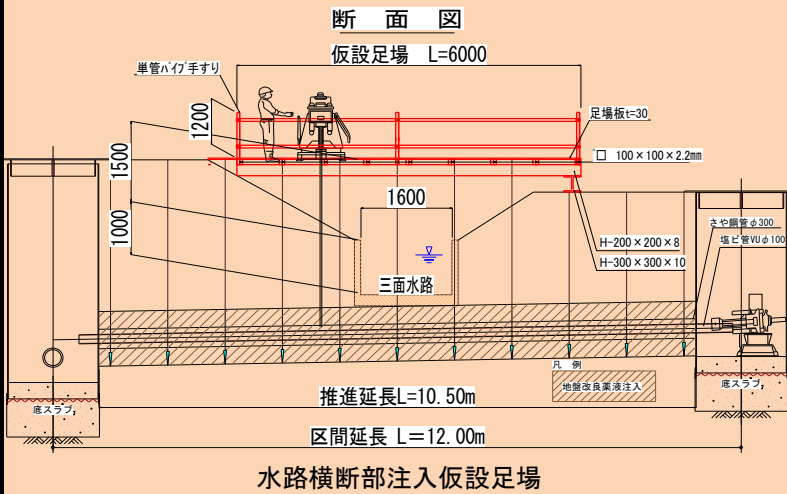
【主任監督員】

取付管において、三面水路下を横断する斜め推進のため薬液注入による地盤改良工が計画されていたが、水路上部に仮設足場橋を架設することで薬液注入角度が垂直となり、安全かつ確実な施工がなされた。近接して飲食店や家屋があるなか大型の発電機が必要であったが、吸音パネルを設置することで防音がなされ、苦情等がなかった。

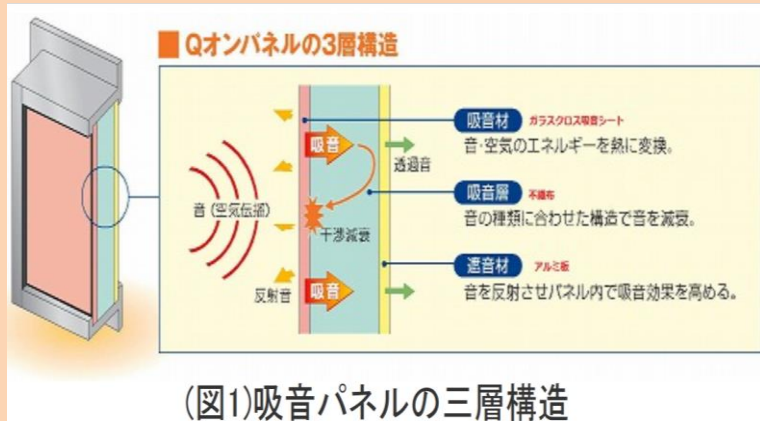
【検査員】

現場精査の結果を考慮し、推進工法をより地質に適した工法に承認行為で変更しており、また、本工事は県道の占用工事であり、工期とは別に施工期限があったが、良好な工程管理の下、期限内に工事を完了させたことは、前記の承認工事と併せて評価できる。工事書類は管理項目別にファイルに分類し、インデックスを利用して、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでいた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



発電機を吸音パネル仮囲い



(図1)吸音パネルの三層構造

優良建設工事説明書

工事番号	下複第6号	工事名	新発田北部処理分区(h480他7)管渠工事
施工場所	小舟町、中田町	請負金額	114,490,800円
工期	自 平成30年6月4日 至 平成31年3月5日		
施工業者	㈱石井組	代表者	石井和郎
現場代理人	小山健二	主任(監理)技術者	小山健二
【工事概要】 施工延長 L=308m 開削工 φ300 L=41.4m 推進工 φ300 L=58.2m 推進工 φ200 L=194.8m 小口径マンホール工 N=2基 1号マンホール工(抗菌) N=2基 2号マンホール工(抗菌) N=4基 2号マンホール工(レジン) N=1基 公共ます設置工 N=2箇所	一次下請内容	工種	推進工・薬液注入工・さく井工
		"	開削工・公共ます設置工
		"	立坑工
		"	舗装版切断工
		"	左官工
		業者数	6社
成績評定点	82点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】

当該工事は交通量の多い国県道を占有する工事であり、かつ工事箇所上流でも関連下水道工事を施工中であることから、交通規制をはじめ制約条件が多いという特色がある中で、綿密な工程調整、交通規制調整等を確実に実行し、余裕をもって竣工することができた。また、現場施工条件にあった新しい工法への変更提案、従事作業員に対する熱中症対策等、他の模範になる工事であった。

【検査員】

本工事は交通量の多い県道での施工であったが、隣接工事との調整を図り、安全管理が適切に実施されていた。施工時期の制限があったが、早期に竣工できていた。工事書類は管理項目別に分類・分冊して、インデックスの色分け、仕切り板、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、見やすい書類の作成に取り組んでいた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



(主)新発田紫雲寺線



(主)新発田紫雲寺線



通過交通の多い国県道を規制しての作業になることから、関連下水道工事受注者間で綿密な工程調整及び規制調整を実施。交通渋滞を助長しないような配慮に尽力した。



極小立坑設置



推進工到達



現場施工条件に応じ、従来よりも小さいφ800mmの極小立坑に変更・実施。本立坑を到達として低耐荷力圧入二工程推進を実施。

酷暑時期の施工であったため、熱中症対策を実施。



工事期間中の路面沈下計測を実施。



ケーシング立坑とマンホール間が狭く、躯体の固定が困難であることから、人力に頼らず固定できる特殊金具を採用。



段階確認(精度確認)

高い推進精度で施工を完了。

優良建設工事説明書

工事番号	自災 第1号	工事名	城北1号雨水幹線整備その2工事	
施工場所	小舟町3丁目	請負金額	48,448,800	
工期	自 平成30年10月 5日 ~ 至 平成31年 3月25日			
施工業者	㈱石井組	代表者	代表取締役社長 石井 和郎	
現場代理人	森 弘樹	主任(監理)技術者	森 弘樹	
【工事概要】 施工延長 L=34m ボックスカルバート布設 L=34m (1800×1500) 給水管仮設・本設工 1式 ガス供給管仮設・本設工 1式 樹木伐採・処分工 1式	一次下請内容	工種	伐採・抜根工	
		〃	給水管仮設・本設工	
		〃	供給管仮設・本設工	
		〃	ボックスカルバート布設工	
		〃	鋼矢板打込工	
		〃	その他 3工種	
業者数	8社			
下請率				
成績評定点	82点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 当該工事は、総合評価「提案型」の工事であった。大型車両を昼夜問わず通行可能な状態で施工しなければならない厳しい現場条件の中で、地元及び関係者との綿密な協議により借地等により作業ヤードの確保、水道・ガス管の切廻し等の関連業者も複数ある中で、確実な施工管理に努め、苦情等もなく工事を完了させた事は優良工事として評価できる。			
	【検査員】 本工事は限られたスペースでの施工であったが、隣接関係者等と調整を図り、作業方法の提案を行い、適切な施工管理が実施されていた。工事書類は管理項目別に分類し別冊にして、インデックスや色付仕切り板、さらに一覧表で内容を整理し、丁寧な竣工書類の作成に取り組んでいた。			

【説明を補足する写真 図面 略図】



神社敷地を借地し作業ヤードとして使用



定期的な教育のなかで関連業者への確実な周知徹底



掘削した状態での交通開放のための夜間の安全対策



横引き工法によるボックスカルバート布設

優良建設工事説明書

工事番号	地総受第1号	工事名	本庁舎第4駐車場整備工事
施工場所	中央町4丁目	請負金額	63,752,400
工期	平成29年11月16日 ~ 平成31年3月1日		
施工業者	株式会社 石井組	代表者	石井和郎
現場代理人	野澤善則	主任(監理)技術者	横山友一
【工事概要】 整備面積 A = 4,300m ² 路床盛土工 V = 280m ³ 土留め工 L = 98m 柵工 L = 260m 排水工 1式 さく井 1式 車止め工 1式	一次下請内容	工種	土工・土留工・排水路工・さく井工
		業者数	3社
		下請率	
		成績評定点	81点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

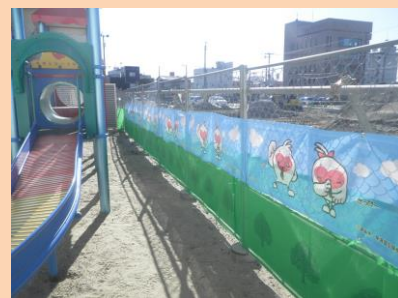
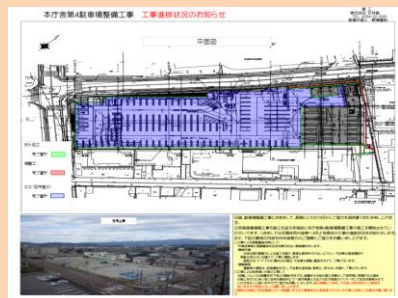
【主任監督員】
駐車場整備における災害防止協議会のまとめ役として、地域との調整や建築工事も含めた全体工程の調整等、様々な場面でリーダーシップを発揮していた。また、工事着手前の現場照査や他工事の内容・状況を踏まえ、地元の要望を取り入れながら積極的な変更提案が行われ、全体を通して良好な施工であり、トラブルなく工事を完了した。

【検査員】
施工現場が住宅に隣接し、かつ、限られた敷地内であったが、周辺関係者及び他工種業者と十分な打合せ・協議を行い、安全管理も怠らずに施工し、また、早期に工事を竣工したことは評価できる。工事書類は管理項目別に適度に分冊して、インデックスの色分け、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでいた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



路床盛土の施工において試験施工を実施し、路床締固め度の規格値を満たす転圧回数で転圧を行った。また、雨水が溜まらないように排水勾配を考慮して施工を行い、品質向上に努めた。



工事安全掲示板に1週間単位の工程等を掲示して住民へ周知した。また、隣接住民には工事の進捗状況を直接説明し、地域住民への配慮した。

こども園との境にはキャラクターのメッシュシートを設置し、イメージアップを図った。



試掘調査結果と地元要望を踏まえ、法線・基準高の精度管理を行いながら官民境界の土留め壁を施工

工事完了 全景

優良建設工事説明書

工事番号	改整第5号	工事名	配水管入替30-5工区(開削)工事
施工場所	中央町4丁目他 地内	請負金額	¥40,424,400
工期	自 平成30年5月31日 至 平成30年11月30日		
施工業者	新葦工業(株)	代表者	荒井英之
現場代理人	前田肇	主任(監理)技術者	前田肇
【工事概要】 ・配水管入替工事 PEPφ150 L=223.8m、排泥管PEPφ150 L=1.3m、φ75 L=1.1m HVPφ150 L=0.5m、φ100 L=0.4m、φ75 L=4.1m φ150分岐部 PEPφ150 L=10.8m 排泥管PEPφ75 L=1.1m、HVPφ75 L=2.2m φ100分岐部 PEPφ100 L=30.4m、排泥管HVPφ50 L=8.0m φ50分岐部 HVPφ50 L=6.5m ・消火栓設置工事 地下式単口 N=1基 ・給水管改造工事 φ75～φ20…13件 ・試掘工 1式	一次下請内容	工種	配水管布設・給水管改造工事
		業者数	2社
		下請率	
		成績評定点	81点
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事は昭和初期に布設された配水管の入替工事であり既設管との切替工事の際に濁水の発生が懸念された。そのため、10回近い切替工のたびに事前に濁水が発生した場合に影響が及ぶ可能性のある範囲の住宅や店舗を直接訪問して口頭での説明とお知らせの配布を行い、苦情の防止に努めた。 【検査員】 配水管の切替え工事による濁水等の苦情対策として、周辺住宅など広範囲に周知し苦情対策に努めていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】

平成30年9月8日

地域のみなさまへ
水道管接続工事のお知らせ

この度、水道管の接続工事を下記の予定で行います。
濁水にはなりません。白濁水及び赤水が漏れている場合がありますので、ご確認のうえ使用してくださいようお願いいたします。

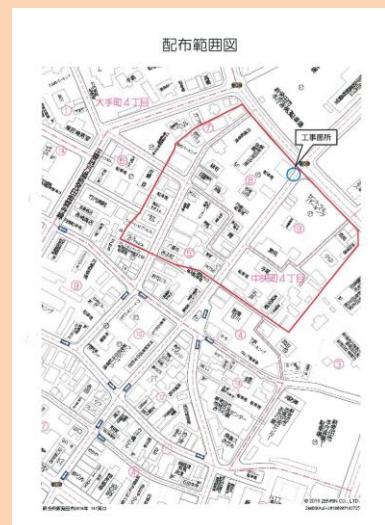
工事名 改整第5号 配水管入替30-5工区(開削)工事
作業日時 平成30年9月13日(木)
作業時間 午後1:00～午後3:30

工事場所 中央町4丁目8番 地内 (裏面のとおり)

請負業者 新葦工業株式会社 TEL 0254-22-5523
現場代理人 前田 肇 TEL 090-4094-6082
発注者 新発田市水道局 課長 TEL 0254-23-7193
担当 工務課 検査課

火の元には十分ご注意ください

新発田市水道局



平成30年9月21日

地域のみなさまへ
水道管切替工事のお知らせ

この度、水道管の切替工事を下記の予定で行います。
濁水にはなりません。白濁水及び赤水が漏れている場合がありますので、ご確認のうえ使用してくださいようお願いいたします。

工事名 改整第5号 配水管入替30-5工区(開削)工事
作業日時 平成30年9月25日(火)
作業時間 午後1:00～午後3:30

工事場所 新発田警察署 (裏面のとおり)

請負業者 新葦工業株式会社 TEL 0254-22-5523
現場代理人 前田 肇 TEL 090-4094-6082
発注者 新発田市水道局 課長 TEL 0254-23-7193
担当 工務課 検査課

火の元には十分ご注意ください

新発田市水道局



優良建設工事説明書

工事番号	雨単 第1号	工事名	大手町雨水枝線整備その3工事	
施工場所	大手町1丁目 他	請負金額	24,386,400	
工期	自 平成30年 8月10日 ~ 至 平成31年 1月11日			
施工業者	(株)中村組	代表者	代表取締役 中村 俊一	
現場代理人	中村 祐二	主任(監理)技術者	中村 祐二	
【工事概要】 施工延長 L=413m 雨水管閉塞工 L=315.7m 雨水管入替工φ350 L=97.4m 小口径マンホール工 2基	一次下請内容	工種	側溝工・撤去工 他	
		〃	モルタル注入工	
		〃	舗装版切断工	
		〃	カメラ調査工	
		〃	交通誘導	
		〃	家屋調査	
		業者数	6社	
下請率				
成績評定点	81点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 当該工事路線には非常に多くの既存埋設物がある厳しい現場条件であったが、試掘及び徹底した危機管理での日々の作業により埋設管破損等はなく無事故で工事完了。施工場所が複数の町内になるため自治会長及び関係者への事前の周知徹底を確実に、通過車両に対しても設置場所を工夫した工事看板等により苦情等もなく工事を完了させた事は優良工事として評価できる。			
	【検査員】 施工区間は店舗等があり、通行止めを伴う工事であったが、地域住民や店舗との連絡を密にして、トラブル無く工事が竣工できた。竣工書類は管理項目別にファイルを分冊とし、インデックスを上手に利用してまとめられ、一覧表を用意して、内容を細部についても的確に把握できる工夫が見られた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



試掘による埋設物の確認



複数ある埋設物に細心の注意で行う日々の施工



見易さ等を考慮し配置された工事看板類



施工箇所付近での歩行者等への誘導

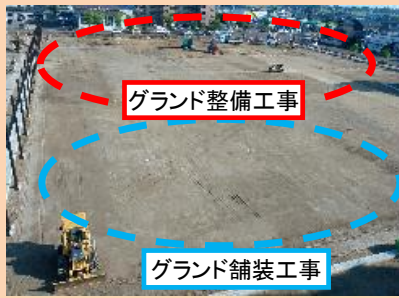
優良建設工事説明書

工事番号	地教受第2号	工事名	住吉小学校グラウンド整備工事	
施工場所	住吉3丁目地内	請負金額	114,296,400	
工期	平成30年3月2日 ~ 平成31年3月1日			
施工業者	新発田建設 株式会社	代表者	渡辺 明紀	
現場代理人	小池 寛行	主任(監理)技術者	小池 寛行	
【工事概要】 整備面積 A=12,500m ² 造成工 V=480m ³ 側溝工 L=578m 防球・防砂ネット L=269m フェンス L=197m 伐採・伐根 1式	一次下請内容	工種	構造物撤去工	
		〃	基盤整備・排水工	
		〃	グラウンド・コート整備工	
		〃	〃	
		〃	〃	
		業者数	3社	
下請率	〃			
成績評定点	80点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 安全を優先に、学校との連絡調整・関連工事との工程調整を主体的に行いながら最善の計画で工事を進め、要望に応え降雪前に現場施工を完了したことは高く評価したい。また、変更提案を積極的に行うとともに残土の場外搬出の抑制等の地域住民への配慮も行われ、全体的に良好な施工であり事故もなく工事を完了した。</p> <p>【検査員】 工事書類は管理項目別に適度に分冊して、インデックスの色分け、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでいた。施工箇所が小学校の校庭であることから、学校関係者及び他工種業者と定期的な打合せの場を設け、十分に協議を行い、安全管理も怠らずに施工し、かつ、早期に工事を竣工したことは評価できる。</p>			

【説明を補足する写真、図面、略図】



搬出を計画していた土砂が盛土に適した砂質土であった為、造成計画高を上げることで残土の場外搬出を抑制した。



整備工事と舗装工事との施工範囲を区分化し、交錯・混在作業を避けて工事を進めた。



地域区長・学校関係者を対象に、整備工事・舗装工事合同で現場見学会を実施。



防球ネット固定具が児童の頭部くらいの高さで、突出している為、塩ビ製のボルトカバーを設置。



教育活動及び地域活動の一環として、見学活動を実施。6年生も卒業前に新しいグラウンドに立つことができた。



工事完了 全景

優良建設工事説明書

工事番号	改整第13号	工事名	中々山地区配水管及び導水管入替(開削)工事	
施工場所	中々山	請負金額	52,509,600円	
工期	自 平成30年7月23日 至 平成31年1月31日			
施工業者	(株)馬場工務店	代表者	馬場 亨	
現場代理人	此村 孝之	主任(監理)技術者	此村 孝之	
【工事概要】 配水管入替工事 PEP φ30 L=701.2m PEP φ30 L=0.2m(排泥) , HVP φ30 L=6.1m(排泥) PEP φ40 L=1.1m PEP φ50 L=334.2m 導水管入替工事 PEP φ50 L=203.7m , HVP φ50 L=1.6m(排泥) 保護管布設工事 HVP φ100 L=16.3m 排泥管改造工事 仕切弁 φ150 N=1基 給水管改造工事 φ20…28件 φ30…2件	一次下請内容	工種	土工・配管工事	
		業者数	2社	
		下請率		
		成績評定点	80点	
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 勾配の強い道路で掘削土に大きな玉石が混在しており、掘削・積込み作業中において、転石により交通災害の恐れがある為、対策として転石を防止するネットフェンスを設置することで、未然に事故を防ぐことができる。</p> <p>掘削や積込み時での落石や転石等の事故防止として、ネットフェンスを設置し家屋や車等の事故を防ぐ対策をし、安全面を配慮した施工に努めていた。</p>	

【説明を補足する写真、図面、略図】



優良建設工事説明書

工事番号	改整第1号	工事名	配水管入替30-1工区(開削)工事
施工場所	中央町2丁目他 地内	請負金額	¥72,435,600
工期	自 平成30年7月27日 至 平成31年1月31日		
施工業者	新葦工業(株)	代表者	荒井英之
現場代理人	居城卓也	主任(監理)技術者	居城卓也
【工事概要】 <small>・配水管入替工事 φ300路線 DIP-NS φ300 L=294.9m, DIP-NS φ200 L=2.7m, PEP φ200 L=6.8m 排泥管DIP-NS φ150 L=1.1m, HVP φ150 L=2.0m φ250路線 DIP-NS φ250 L=8.7m φ200路線 DIP-NS φ200 L=7.0m φ150路線 DIP-NS φ150 L=1.1m, PEP φ150 L=10.6m 排泥管PEP φ75 L=1.4m, HVP φ75 L=1.1m φ100路線 DIP-NS φ100 L=2.0m, PEP φ100 L=19.5m 排泥管PEP φ50 L=2.2m, HVP φ50 L=3.2m φ75路線 DIP-NS φ100 L=2.0m, PEP φ75 L=12.0m 排泥管PEP φ50 L=6.7m, HVP φ50 L=3.3m ・地下式消火栓設置工事 N=3基 ・給水管改造工事 φ50~φ200...23件 ・試験工 1式 ・廃止管CB注入 L=48.0m</small>	一次下請内容	工種	配水管布設・給水管改造工事(2社)
		業者数	6社
		下請率	
		成績評定点	80点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
 給水管の引込工事は当初設計では石畳舗装の歩道を開削工法で行う計画であったが、施工時の舗装切断の濁水がせせらぎ水路に流れ込み生息している鯉や鮒に悪影響を与えることを避けるために簡易推進工法を採用して歩道部を開削せずに給水管の引込工事を行った。

【検査員】
 ・水路に生息している魚に悪影響を考慮し、開削工事から簡易推進工法で配管し、環境にも配慮した施工に努めていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



優良建設工事説明書

工事番号	下紫単第1号	工事名	紫雲寺藤塚浜処理分区(708他1)管渠工事	
施工場所	藤塚浜	請負金額	21,535,200	
工 期	平成30年5月23日～平成30年10月24日			
施工業者	株加藤組	代表者	加藤 正人	
現場代理人	小林 豊	主任(監理)技術者	小林 豊	
【工事概要】 施工延長 L=169m 開削工φ150 L=165.0m 1号マンホール工 4基 小口径マンホール工 2基 公共ます設置工 5箇所	一次下請内容	工 種		
		"		
		"		
		業者数	〇社	
		下請率		
	成績評定点	80点		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 本工事は交通量の多い県道での工事であった。施工業者は、関係機関と綿密な打ち合わせを行ったこと、歩行者誘導についても丁寧に行っており、事故はもとより、苦情等が一切発生することなく工事を完成させ模範的な対外関係を構築した。共同で使用している残土置場搬入路において自主的に不陸整工を行ったり注意喚起の看板を設置することにより周辺の住民に配慮する等地域貢献に大いに寄与した。竣工図書についても見やすくわかりやすく整理されており、模範となるような工事内容であった。</p> <p>【検査員】 竣工書類は管理項目別に別冊とし、一覧表とインデックスを上手く利用して見やすく、内容は丁寧にまとめられていた。施工は優れた工程管理を行い、県道の占用工事であったが当初計画どおり進捗して、早期に工事を完了できていた。</p>			

【説明を補足する写真、図面、略図】



・交通量の多い県道での工事であったが、適切な施工ヤードの確保、丁寧な交通誘導により苦情等が一切発生しなかった。



・掘削工から布設、埋戻しに至る一連の作業が確實丁寧に模範となるような作業内容である。



・他施工者と共同で使用している残土置場の搬入路があり、不陸整工や注意看板を自主的に行い重機搬入による振動騒音を抑制し地域貢献に寄与した。

優良建設工事説明書

工事番号	下单第1号	工事名	新発田中央処理分区(3057-1他3)管渠工事	
施工場所	住吉町4	請負金額	37,551,600円	
工期	自 平成30年6月25日 至 平成31年1月10日			
施工業者	(株)中村組	代表者	中村 俊一	
現場代理人	若月 誠	主任(監理)技術者	若月 誠	
【工事概要】 施工延長 L=188m 開削工Φ150 L=109m 推進工Φ200 L= 79m 1号マンホール N=4基 小口径マンホール N=2基 公共ます設置工 N=14箇所	一次下請内容	工種	推進工	
		業者数	14社	
		下請率		
		成績評定点	80点	
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 推進工法では、推進管の品質(法線・高さ)、出来形、安全管理においても秀でていたことは他の模範とするところである。また、住宅街での施工でも安全施設を確保し近隣住民とのトラブルもなく施工できた。</p> <p>【検査員】 竣工書類はファイルごとに一覧表を作成し、またインデックスを利用して見やすく、内容も丁寧にまとめられていた。安全ミーティングや新規入場者教育、現場の安全対策など良好に実施されていることが伺えた。現地調査や地元調整を良好に行い、また工程管理を良好に行った結果、2ヵ月近く早期に竣工することができた。</p>	

【説明を補足する写真、図面、略図】



発進工鏡切



先導管据付



先導管到達



到達制度確認



推進完了



安全施設設置

優良建設工事説明書

工事番号	特加単第2号	工事名	加治川処理区(3119他1)管渠工事	
施工場所	向中条	請負金額	28,231,200円	
工期	平成30年6月26日～平成30年12月22日			
施工業者	(有)島津管工	代表者	島津 郁晃	
現場代理人	佐藤 征美	主任(監理)技術者	田中 博志	
【工事概要】 施工延長 L=137m 開削工φ150 L=135m 1号マンホール工 2基 小口径マンホール工(塩ビ) 1基 公共ます設置工 4箇所 取付管推進工 2箇所	一次下請内容	工種		
		舗装切断工	サンワ技研	
		推進工	(有)渡辺組	
		交通誘導	株J.SECURITY	
		底部工	(有)大淵工業	
		管渠内TV調査	株都市環境	
		家屋調査	(有)吉田建築事務所	
		業者数	6 社	
下請率				
成績評定点	80点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 地域の舗装修繕や清掃活動、除草作業など積極的に地域貢献を行うなど近隣住民への十分な配慮が伺えた。また、品質、出来形、安全管理、工程調整において、行き届いた管理がなされており、竣工書類も的確に整理されていた。			
	【検査員】 受注後、早期より現場照査を行い、より適正な施工手順について監督員と綿密な協議を行って、工程に影響させることなく施工計画をし、さらに、予定工期を短縮して工事を完成させていた。工事書類は管理項目別に分類・分冊し、色別インデックス等を利用して一覧表や集計表で内容を整理する等、丁寧な書類作りを行い、見やすく簡潔にまとめられていた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



3101路線 竣工



地域への貢献としての舗装修繕



地域への貢献として除草作業



残土運搬時、ダンプトラックに付着した土砂を除去し、周辺の環境対策を講じた。

優良建設工事説明書

工事番号	下单第9号	工事名	新発田北部処理分区(903)管渠工事		
施工場所	西園町2丁目	請負金額	8,110,800円		
工期	自 平成30年6月29日 至 平成30年10月26日				
施工業者	株式会社ことぶき	代表者	山口 寿夫		
現場代理人	渡辺 繁雄	主任(監理)技術者	渡辺 繁雄		
【工事概要】 施工延長 L= 52m 開削工Φ150 L= 52m 小口径マンホール N=2基 公共ます設置工 N=5箇所	一次下請内容	工種	管渠工		
		業者数			
		下請率			
		成績評定点	80点		
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】当工事区間は、ガス管・既設水道管が多重に埋設されているが、埋設管の管理者と詳細に試掘調査を行い下水道本管布設位置を確定した。また、施工の際は管の位置を確定するまで手掘りで作業を行うことにより、埋設管破損事故の防止等の安全管理を徹底した。工事期間中は通行止めになる時期もあったが、周辺住民へ個別に訪問する等で工程調整を実施した結果、早期に工事を完成することができた。		
			【検査員】工事書類は管理項目別に分類し、インデックスを利用して一覧表や集計表で内容を整理する等、丁寧な書類作りを行い、非常に見やすくまとめられていた。工事に支障となる埋設管については、管理者と綿密な協議・立会いを行い、現場の作業員全員にも周知徹底したため、埋設管破損等の事故なく工事を完成させた。また、工事着手前・工事施工中と施工区間沿線の住民に十分に細かく情報を提供していたため、トラブルなく工事を完成させることができた。		

【説明を補足する写真、図面、略図】



終点部、ガス管・水道管位置確認



ガス管、水道管の重複路線での試掘工での位置出し



段階ごとの確認



現場従業員への危険周知



交通誘導員による誘導



昼間休憩中では、転落防止柵を設置

優良建設工事説明書

工事番号	下豊単第5号	工事名	豊浦北部第4処理分区(209他1)管渠工事	
施工場所	大伝	請負金額	16,102,800	
工期	自 平成30年 7月 5日 至 平成30年 11月 1日			
施工業者	豊浦建設(株)	代表者	齋藤 正行	
現場代理人	菅 正文	主任(監理)技術者	菅 正文	
【工事概要】 施工延長 L=147m 開削工φ150 L=144m 1号マンホール工 2基 小口径マンホール工 3基 公共ます設置工 3箇所	一次下請内容	工種	開削工	
		"	舗装版切断工	
		"	底部工	
		"	管内TV調査工	
		"	交通誘導員(3社)	
		業者数	7社	
下請率				
成績評定点	80点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 施工箇所は直線の県道部であり、車両がスピードを出して通過するため、重大事故の危険性が懸念された。一般的な看板類の他に、のぼり型や視認性の良い矢印および徐行看板を利用し、事故無く現場完了した。また、同時期に発注された舗装復旧工事業者と工程調整等連携をとり、スムーズに現場完了した。			
	【検査員】 竣工書類は管理項目別に分類し、インデックスを利用するなど、丁寧にとまめられていた。工事は県道部で工事時期に制限がある中、十分な施工管理・安全管理を実施して、無事に工期内にトラブルなく工事を完成させていた。			

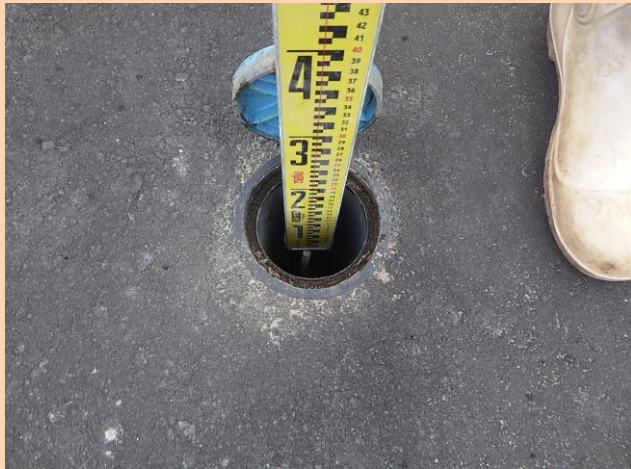
【説明を補足する写真、図面、略図】



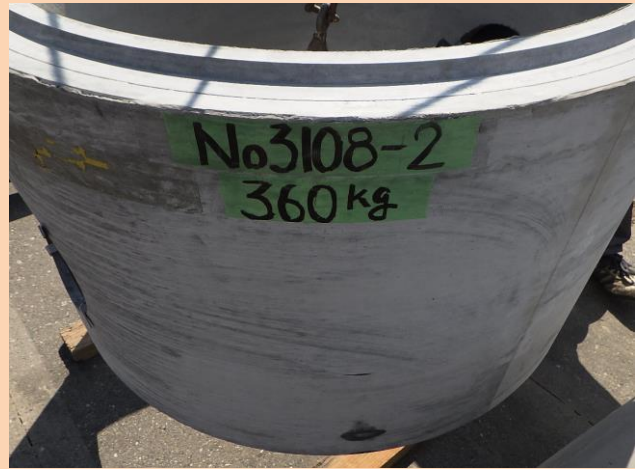
優良建設工事説明書

工事番号	特加単第3号	工事名	加治川処理区(3108他1)管渠工事	
施工場所	向中条	請負金額	20,401,200	
工期	平成30年6月28日～平成30年11月29日			
施工業者	株泰豊建設	代表者	近 賢志	
現場代理人	新保 嘉康	主任(監理)技術者	新保 嘉康	
【工事概要】 施工延長 L=184m 開削工φ150 L=178m 1号マンホール工 4基 小口径マンホール工(塩ビ) 7基 公共ます設置工 7箇所	一次下請内容	工種		
		舗装切断工	(有)日昇	
		開削工	(有)中野土木工業	
		交通誘導	株サンプラス下越	
		底部工	(有)大淵工業	
		管渠内TV調査	株都市環境	
		家屋調査	(有)吉田建築事務所	
		業者数	6 社	
下請率				
成績評定点	86点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】	埋設管の沈下量の測定や作業員が吊り荷の重量を確認できるようにマンホール製品に重量を表示するなど積極的に創意工夫に取り組んでいた。また、作業時間を短縮し、交通規制時間の短縮に努めたり、工事隣接箇所の農道を補修するなど地域住民に対する配慮を十分に行いながら作業に取り組んでいたことは評価できる。		
	【検査員】	契約直後から迅速に施工計画に着手し、同地区の別工事との工程調整により1か月半も工事が出来ない期間があったが、当初工期内に竣工させたことは評価できる。竣工書類は管理項目別に分類し適度に別冊として、一覧表とインデックスの色分けを上手く利用して見やすく、内容も丁寧にまとめられていた。		

【説明を補足する写真、図面、略図】



埋設管の沈下量測定による品質管



マンホール製品の重量表示



2台の重機を使用して、作業時間の



工事隣接箇所の農道補修